

平成30年度 業務棚卸評価シート

| | | | |
|----------|------------------|--------|------------|
| No. | 18 | 担当部課名称 | 市民安全部安全対策課 |
| 事務事業名 | 交通安全啓発事業 | | |
| 見直しのタイトル | 高齢者への効率的な啓発活動の実施 | | |
| 添付資料 有無 | 無 | | |

1 現状における課題

- ・市内における人身交通事故の件数は、平成29年は前年と比較し増加した。また、高齢者が関係する事故は、平成29年は前年と比較し減少したが、全人身交通事故に占める割合は、3割を超えている。
- ・平成30年5月には、高齢運転者による死亡事故が市内で発生したこともあり、高齢運転者による事故対策や運転免許証の返納制度についての市民の関心が高まっている。
- ・高齢者の交通安全意識を高め、交通事故を減少させるため、高齢者への交通安全啓発をこれまで以上に実施する必要がある。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

- 【趣旨】
高齢者に対するこれまでの交通安全啓発を継続するとともに、高齢者関連事業等と連携した効率的な啓発活動を実施する。
- 【具体的内容】
- ・茅ヶ崎警察署等の関係機関と高齢者対策について協議し、連携できる事業を検討する。
 - ・庁内関係課等が実施する転倒予防教室、老人クラブ事業、公民館の講座等において、振り込め詐欺対策等と連携した啓発活動を実施する。

3 改善により期待できる効果

- ・高齢者に対するこれまでの交通安全啓発については、交通安全教室、各種キャンペーン等を中心に茅ヶ崎警察署や茅ヶ崎地区交通安全協会等の関係機関と連携して実施してきたが、他の高齢者関連事業等とは別々に実施することが多かった。今後はもう一つの課題である振り込め詐欺対策に関する周知啓発と合わせ、庁内関係課等が実施する転倒予防教室等の時間を一部利用するなどして、高齢者関連事業等と交通安全対策についてこれまで以上に連携して実施することで、啓発効果を高めるとともに職員の負担軽減につなげることができる。

4 実施スケジュール（概要）

- ・ 7月 関係機関との協議
- ・ 通年 高齢者関連事業等と連携した啓発活動の実施

5 実施結果の振り返り

課題であった高齢者への交通安全啓発について、高齢者関連事業としての振り込め詐欺対策の啓発と合わせ、庁内関係課等が実施する転倒予防教室等の時間を一部利用するなどして連携を図ったことで、年間を通じてこれまで以上に高齢者に対して交通安全意識の高揚を図ることができた。しかしながら、市内における高齢者が関係する交通事故は増加傾向にあるため、今後さらに高齢者関連事業等と連携を図り、高齢者に対する効果的な啓発に取り組んでいきたい。